

全国大会出場マイコンカー アンケート (Advanced Class)

| | | |
|-------------------------------------|---|---|
| 学校 | 愛媛県立新居浜工業高等学校 | |
| 氏名 | 鈴木 悠斗 | |
| カーネーム | 超菊花賞改 | |
| 全長 | 550mm | |
| トレッド | 前輪：160mm 後輪：180mm ※タイヤの中心から中心までで、お願いします | |
| ホイールベース | 180mm | |
| 重量 (電池込み) | 約 750g | |
| 電池の種類、本数 | エネループ 8本 | |
| 駆動系 | ギヤ比 | 10 : 50 |
| | タイヤの 直径 | 前輪：約 34mm 後輪：約 34mm |
| | タイヤの 製作方法 | ホイールは、3Dプリンタ (PLA) で印刷後に旋削。 スポンジはカラーフォームを使用して、両面テープで張り付け。 スポンジの表面にパイオランテープを巻き付ける。 |
| ステアリングモータ、ま たはサーボ | メーカー、 型式 | RE-max21 |
| | 自作の場合、 ギヤ比 | 1 : 40 |
| コース検出センサの種類、数 | アナログセンサ基板 TypeS Ver.3 を使用 アナログセンサ 2個 デジタルセンサ 6個 (スタートバーセンサ含む) | |
| その他のセンサの種類、数 | ロータリーエンコーダ 1個 ポテンショメータ 1個 坂アナログセンサ 1個 | |
| 特徴 | 昨年度の大会はカーボンでしたが、今大会はジュラルミンでシャーシを製作しています。また、弱点だった操舵ギヤ比を改善し、リアモータをタイヤ軸より後方にしてトラクションを求めるとともに剛性を向上させました。 トレイスが安定したこと、「何処でも走る」走行の実現に近づけることができました。 | |
| 苦労した点 (特に完走率を高めるため に工夫したことなど) | 時期によって走行バランスが変わるのでバッテリーの配置を探すのに苦労しました。全国大会でも気温の影響なのか、ベストの位置を探せなかつたのですが、最後まで走り切れて良かったです。 | |
| 感想 | マイコンカーラリーを3年間続けてきた集大成として挑んだ全国大会。優勝という結果で締めくくることができて、嬉しさで胸がいっぱいです。この結果は、周りの人たちの支えや応援、何より勝ちたいという気持ちを持って日々の練習を続けてきたからだと思います。 僕は北海道の地は初めてで、自身の調子だけではなくマシンのコンディショ | |

ンまで崩れてしまうのではないかと不安でした。しかし、何が起こるかわからないからこそ、「どう走りたいのか」を考えて「何処でも走る」ように毎日マシンと向き合って調整をしてきました。大会では決勝トーナメント1回戦だけコースアウトしてしまいましたが、最後までゴールを駆け抜けることができたことにホッとしています。

次の全国大会開催地区は四国です。後輩たちには地元として活躍して良い成績を残してほしいと願っています。

最後になりますが、今大会に関わられた全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。

■写真



